

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名	総務部 人事課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
 重点的取組 2 効率的、効果的な行政組織をつくる

事業名	行政経営推進事業	事業開始年度	平成 23 年度
	行政経営システム強化支援等		廿日市市行政経営改革指針

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市役所の各部署	限られた経営資源を効率的に活用し、市民の視点に立った質の高い行政サービスを提供できるよう、市役所内部の仕組みやプロセスを見直し、社会環境の変化に対応でき市民満足度の高い行政運営ができる組織風土をつくる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	外部コンサルタント、市長、副市長、部局長、課室長、改革推進PT、他自治体職員	・職員一人ひとりが、常に市民の立場に立って思考し、市役所の仕組みや行政サービスを見直しに向けて主体的に取り組む。 ・地域経営と連携した行政経営を目指す。

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）	(1) 行政経営品質向上活動関係（行政経営システム機能強化） 組織目標達成に向けた組織マネジメント力が向上するよう、外部サポートを活用し、管理職を対象とした研修会を5月9日と10月7日に、監督職を対象とした研修会を6月20日と2月12日に開催した。 (2) 2S（整理・整頓）活動関係 ○ 2S活動を通じ、探す無駄の排除、物的危険性の回避、有効活用スペースの拡大など、業務の生産性を向上させると共に、市役所執務室の「見た目」について、市民目線からのサービス水準の向上を図った。 ○ 時間的変化を伴わない対象（文具・書類・共有スペース等）を中心に、「要るモノだけにする」活動を通じて、要/不要の判断力を養うことをきっかけに、業務フローの見直し等問題・課題を解決するための改善につなげていった。 ○ 教育部、建設部、都市・建築局で新たに2S活動に取り組んだ。それ以外の所属でも引き続き2S活動に取り組み市役所共通のルールとして習慣化することを目指した。 (3) 職員研修関係等 ○ 組織風土改革と職員の解決思考力の向上に向けた職員研修として、7月17日、18日に「チーム力アップ研修」を実施した。（SF：ソリューションフォーカス（解決思考）研修） 【歳出】 委託料 行政経営システム機能強化支援委託料 1,992,060円 2S活動コンサルタント業務委託料 1,069,000円 組織風土改革研修業務委託料 300,000円							
	コスト情報（円）	項目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	3,276,725	3,361,060			
			国庫支出金					
			県支出金					
			借入金（市債）					
			その他(使用料など)					
		市（市税など）	3,276,725	3,361,060				
	人件費(按分) B	0.50 人 4,243,000	0.50 人 4,287,000					
	総事業費(A+B)	7,519,725	7,648,060					
到達目標	活動	① 人口(4月1日現在)	117,680 人	117,182 人				
		② 市民1人当たり	64	65				
到達目標	成果	活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
		2S活動実施方法を習得した職員数	人	93	100	166	100	
		組織の仕組みやシステムが日常的に見直されていると肯定する職員の割合	%	-	-	48.2	60.0	